



問合せ先 防災安全課防災係 (窓口⑩) ☎364145

正しい情報入手しましょう

災害発生の危険性が高まっているときや災害発生時には、誤った情報やデマが拡散されることがあります。市役所や消防、警察、メディアなどから流れる正しい情報を自ら入手するようにしましょう。

災害情報の入手先には、テレビ(テレビデータ放送)やラジオ、インターネット等がありますが、県や市では、次の方法で情報発信します。

①下田市メール配信サービス
同報無線で放送した内容や防災・防犯情報などをメールで配信するサービスです。お持ちの携帯電話やスマートフォンで登録が必要です。

②戸別受信機
同報無線のデジタル化に伴い、防災ラジオに代わり、戸別受信機を無償で貸与します。

貸与について、これまで住民の皆さまに限定していましたが、事業所や法人も貸与対象としました。貸与には、申込用紙を窓口で入手又は市ホームページで「戸別受信機」と検索・ダウンロードの上、メールやFAX、郵送でお申し込みください。※既に申込みいただいた方には、今



近年、全国各地で地震・津波以外にも、大型台風や集中豪雨などの自然災害により甚大な被害が発生しています。

自然災害から自分や家族の命を守るためには、正しい知識と日頃からの備えが必要です。この機会に家庭内の防災対策を再点検しましょう。

南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震では、広範囲で大きな揺れが起きるだけでなく、大津波の発生も予想されます。市では、震度5強から6弱、最悪で地震発生後から12分後に20cm、20分以内には10mの津波が到達し、最大津波高は33mになると想定されています。

南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ巨大地震では、地震の発生が通常と比べて高まったと評価された場合には、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。こうした情報が発表された場合は、国や市からの呼びかけに応じた対応をお願いします。

避難するときの心得

避難するときは、動きやすい恰好で、隣近所で声を掛け合い、なるべく複数で避難するようにしましょう。

年度内に郵送でお送りします。※現在、同時通報用無線柱(広報用スピーカー柱)の設置・建替工事を順次実施しています。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。

③静岡県総合防災アプリ
県は、スマートフォン向けアプリ「静岡県防災」を配信しています。アプリでは、緊急防災情報の通知や現在位置の危険度確認などの機能を日本語や英語、中国語など12言語で利用できます。



各種補助制度があります

市は、家庭内防災対策のための各種補助制度を実施しています。身近な防災用品の補助金制度を上手に活用し、防災対策を進めましょう。

①ヘルメット・救命胴衣
購入費補助金
防災用として使用するヘルメットやライフジャケット等の救命胴衣を購入される場合、購入費の一部が補助される制度です。

また、補助交付の条件や購入前の事前申請が必要な場合があります。詳しくは、防災安全課までお問い合わせください。

特に、夜間の避難は足元を確認しにくくなるなど危険が伴います。食料や飲料水などを携行し、明るいうちからの早めの避難が大切です。

避難する際には、まずは安全な場所に住んでいる知人や親戚の家に避難できるか検討し、避難する場所がない場合には、指定緊急避難場所への避難を検討しましょう。その際、車での避難は避け、水の流れのある場所には近づかないことが大切です。

また、浸水している場合は、側溝などに転落する可能性があります。日頃から、家庭や地域で話し合い、避難経路を実際に歩いて、危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

非常持出品の準備

非常持出品は、リュック等にまとめ、いつでも持ち出せる場所に置くようにしましょう。

持出品には、貴重品(現金・免許証など)や、非常食・飲料水、衣類(タオル・下着など)、救急医薬品・常備薬などが挙げられますが、このほかにも、乳幼児や高齢者がいる家庭や、治療中の病気がいる方は、それぞれの環境や事情に合わせて必要なものを準備しておくことが大切です。

※自転車用ヘルメットやマリンスポーツに使用する救命胴衣などは補助対象外です。

◆対象となる方
市内に住民登録のある方

◆補助金の額
1個につき2千円。ただし、購入に要した金額が2千円未満の場合は、その金額。

◆補助金交付の方法
購入前に、交付申請書及び購入物品の価格、仕様、規格等がわかるパンフレット等を防災安全課まで提出してください。

◆対象となる方
次のいずれにも該当する方
①市内に住民登録のある方
②器具を取り付ける住宅や併用住宅の所有者又は居住者

◆対象となる経費
※併用住宅とは、事務所や店舗と住宅を兼ねているものこと

◆器具の購入費
①器具の取付け費
◆補助金の額
補助金の対象となる経費の2分の1以内の額(千円未満は切り捨て)

6月7日(日)に土砂災害防止月間に合わせ、相玉区をモデル地区に土砂災害防災訓練を実施しました。今年度は、「土砂災害警戒情報」が発表された想定で、区との情報伝達訓練や、ハザードマップを活用した自宅周辺の土砂災害警戒区域の位置や避難場所や避難経路等の確認をしました。

土砂災害防災訓練を実施しました

10月頃までは、大雨が降り、土砂災害が発生しやすい季節です。ハザードマップを活用し、自宅周辺の危険な箇所等を確認して、早めの避難行動を心掛けましょう。

食料品・備蓄品のチェックリスト

◎食料や飲料水は最低3日分、できれば1週間分を備蓄

・水は、1人1日当たり3リットル程度 ・非常食は、火を通さなくても食べられるものが便利

備蓄例	□食料：お米、レトルト食品、缶詰、カップ麺など	□携帯電話：充電器も用意
	□燃料：卓上コンロ、固形燃料、カセットガスなど	□懐中電灯：できれば1人に1つ。予備電池も用意
	□衣類：タオル、下着、靴下など	□その他：ティッシュ、洗面用具、マスク、体温計、消毒液、寝袋など
	□救急医薬品：絆創膏、傷薬、包帯、胃腸薬など	・乳幼児のいる方：粉ミルク、離乳食、紙おむつなど
	□貴重品：現金(小銭もあると便利)、預金通帳、印鑑、免許証など	・高齢者の方：介護用品、持病の薬など
	□携帯ラジオ：AM、FMの両方が聞こえるもの。予備電池も用意	